

「キャンプ砂防2017」を開催

◆ 辻 隆 宏* ◆

1. はじめに

「キャンプ砂防」は、砂防を専攻する大学生等を対象に体験的に砂防の意義・役割について学ぶ場を提供し、砂防に対する認識を深めてもらうことを目的として、平成8年度より毎年度実施しています。この「キャンプ砂防」という名称は、元国連難民高等弁務官・緒方貞子さんの提唱で始まった難民援助の現場を実際に体験する青年向けの研修プログラムである「キャンプ・サダコ」にちなんで命名されたものです。

「キャンプ砂防」には、平成8年度に開始以来、これまでに2,000名を超える学生が参加しています（図-1）。

2. 「キャンプ砂防2017」の概要

平成8年度の初開催より数えて22回目の開催となる「キャンプ砂防2017」は、大学等の夏季休暇



図-1 「キャンプ砂防」参加者数の推移

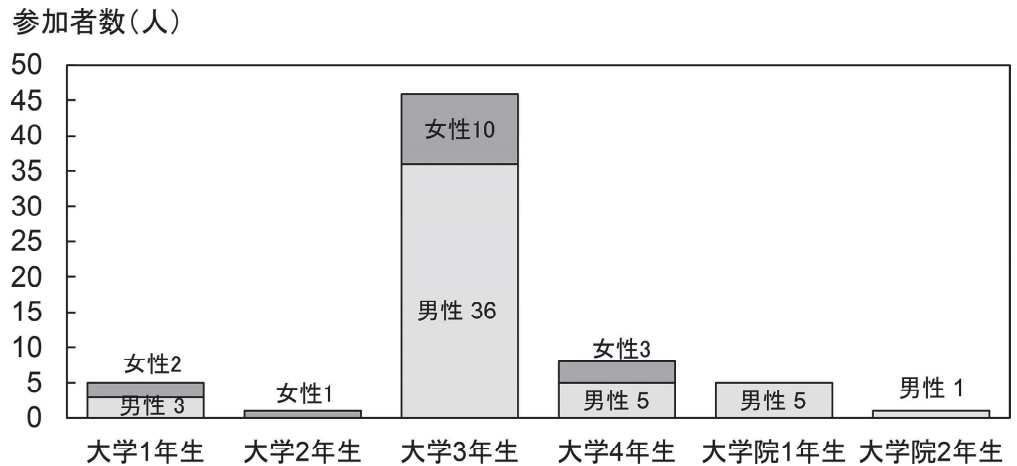


図-2 「キャンプ砂防2017」参加者の学年構成

期間中の本年7月末から9月上旬にかけて、北海道から鹿児島県まで全国19箇所の直轄砂防関係事務所で実施され、全国から大学1年生から大学院2年生までの66名（男性50名，女性16名）の学生が参加しました（図-2）。

* Takahiro Tsuji 国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課地震・火山砂防室地震対策係長

表-1 「キャンプ砂防2017」実施内容

機関	実施事務所等 (所在地)	実施時期	参加 者数	実施内容	
		開始～終了		実施テーマ	実施概要
北海道 開発局	札幌河川事務所 (北海道札幌市)	8月28日～9月1日	3名	キャンプ砂防 in さっぽろ・ 豊平川 195万都市さっぽろの“都 市砂防”を学ぶ	豊平川の恩恵により大きく発展した北海道 の政治経済の中心地・札幌市における砂防 事業を、治水の歴史・砂防工事の現場見 学・現地調査の体験など通じて学ぶ。
東北 地整	新庄河川事務所 (山形県新庄市)	8月28日～9月1日	4名	キャンプ砂防2017 in 月山 「現場体験、地域体験等 を通じ砂防事業と地域の暮ら しを知る」	砂防事業、地すべり事業の現場体験、地域 体験(間伐作業、畑作業など)、空中調査 など。
関東 地整	日光砂防事務所 (栃木県日光市)	8月28日～9月1日	4名	キャンプ砂防2017 in 日光 「もうひとつの日光 ～雄 大な自然に隠された災害の 歴史～」	日光の歴史や風土を学ぶと共に、土砂災害 から日光を守るために続けられている砂防 事業の変遷と対策工法等について学びます。 また、平成27年9月の関東東北豪雨の際に 土石流災害が発生した地区の復旧状況につ いて現地を確認します。
	渡良瀬川河川事務所 (栃木県足利市)	8月21日～8月25日	5名	渡良瀬川の歴史と砂防～豊 かで安全な地域を目指して ～	渡良瀬川の歴史と砂防事業の取り組みにつ いての学習します。また、工事現場体験学 習及び崩壊地調査を行います。 足尾地区の緑化対策は、官民が連携し、協 力しあいながら取り組んでいる事例を学習 します。
	富士川砂防事務所 (山梨県甲府市)	8月28日～9月1日		土砂流出の著しい富士川流 域の暮らしを守る南アルプ スのSABOを学ぶ	大断層・糸魚川-静岡構造線の複雑な地形 と脆弱な地質を現地調査し、過去の土石流 災害体験談や講義等を通して自然災害の猛 威と砂防事業について学びます。
北陸 地整	松本砂防事務所 (長野県松本市)	8月28日～9月1日	3名	キャンプ砂防2017 in 松本 「北アルプス東麓の中山間 地域の生活と砂防事業を学 ぶ」	中山間地域での砂防事業が果たす役割を現 地調査、現場実習等を通じて体験的に学ぶ 事により、砂防に対する理解を深めてもら う。
	湯沢砂防事務所 (新潟県湯沢町)	8月21日～8月25日	6名	キャンプ砂防2017 in 魚野川 「新潟県中越地震」「新 潟・福島豪雨」といった近 年の土砂災害と対策実施状 況や、これまでに行われて きた砂防事業による安全・ 安心の確保が下支えとなっ て地域の復興や発展につな がっている状況を学び、中 山間地域における砂防事業 の意義、あり方を考える。	「新潟県中越地震」「新潟・福島豪雨」に より発生した土砂災害への対策状況と地域 の復興状況の現地見学に加え、地域産業・ 地域経済に対する砂防事業の効果について 現地調査等を通じて学び、中山間地域にお ける砂防事業の意義、あり方について考え る。
	神通川水系砂防事務所 (岐阜県飛騨市)	8月28日～9月1日	4名	奥飛騨の大自然のなか、山 間地での体験学習	奥飛騨の大自然のなか地域産業(観光)と 密接に結びついた事業(ハード・ソフト両 面)について体験学習する(水文観測所点 検実習、砂防工事作業体験、自然環境調査 体験、地場産業体験など)。
中部 地整	天竜川上流河川事務所 (長野県駒ヶ根市)	7月31日～8月4日	2名	キャンプ砂防2017 in 天竜川 「南アルプスと中央アルプ スに育まれた南信州の自然 に触れ、砂防について学ぶ」	事業概要講義、工事現場見学及び体験、砂 防・地すべり施設見学、伊那谷地形現地踏 査、災害体験講話等
	静岡河川事務所 (静岡県静岡市)	8月23日～8月25日	3名	キャンプ砂防2017 in 狩野 川・安倍川「砂防事業でま もるもの」	砂防事業管内(安倍川・狩野川)視察、土 砂災害の歴史・地域の文化等の学習、工事 現場体験
	沼津河川国道事務所 (静岡県沼津市)	8月21日～8月23日			

機関	実施事務所等 (所在地)	実施時期 開始～終了	参加 者数	実施内容	
				実施テーマ	実施概要
近畿 地整	六甲砂防事務所 (兵庫県神戸市)	9月4日～9月8日	6名	六甲山地の都市砂防	見学・実習等を通して、都市部である六甲山地の砂防事業を学んでもらう。
	紀伊山系砂防事務所 (奈良県五條市)	8月21日～8月25日	6名	紀伊山系における砂防事業の体験学習	・大規模土砂災害対策事業の工事現場見学および作業体験 ・大規模土砂災害対策事業の調査設計業務に関する体験学習 ・大規模土砂災害対策研究機構(大規模土砂災害対策技術センター)の調査や研究に関する体験学習 ・平成23年台風12号災害発生箇所や過去の大規模土砂災害発生箇所などの見学
中国 地整	太田川河川事務所 (広島県広島市)	9月4日～9月8日	5名	広島の砂防事業における取り組み、砂防堰堤計画実習	砂防の調査・計画・設計、溪流調査、工事現場体験、砂防堰堤の管理、災害箇所の現場確認等
四国 地整	四国山地砂防事務所 (徳島県三好市)	9月4日～9月8日	5名	中山間地域・四国山地より学ぶ!	砂防・地すべり学習、間伐体験、里山砂防体験、砂防・地すべり工事見学、地域との交流等
九州 地整	宮崎河川国道事務所 (宮崎県宮崎市)	8月21日～8月22日	4名	霧島山系の砂防事業について	新燃岳噴火後の対策について、現場見学や地元の体験談を聞くことで、火山噴火対応の砂防事業を学ぶ。
	大隅河川国道事務所 (鹿児島県肝付町)	8月22日～8月25日		火山との共生をめざして	桜島の火山活動の現状、砂防工事における土石流及び噴火災害に対する安全対策、NPO法人の活動を通じて桜島との共生等について、講演及び工事現場の体験を通じて桜島の火山砂防事業を知ってもらう。
	川辺川ダム砂防事務所 (熊本県相良村)	8月22日～8月25日	3名	川辺川の砂防と現場体験学習	事業概要説明、砂防工事計画説明、砂防現場見学・施工管理体験、土砂災害時の緊急調査体験、住民談話等
	雲仙復興事務所 (長崎県島原市)	8月25日～8月28日		雲仙普賢岳災害の原点にもどり火山との共生を考える	砂防事業現場・災害遺構見学、無人化施工操作体験、噴火災害と復興について(講義)、ジオツアー、地域との交流等

各事務所においては、各地域の特色を反映させた独自のテーマを設定しており、砂防工事・調査の現場実習や砂防に関する知識の習得のほか、参加学生に砂防と地域のつながりを理解してもらうために中山間地域の自然・文化の学習、地場産業の作業体験、地域住民との意見交換や災害体験談を聴く場を設けるなど、幅広いカリキュラムで実施しました(表-1)。

3. 「キャンプ砂防2017」の実施状況

各事務所における「キャンプ砂防2017」の実施状況を示します(写真-1～写真-10)。

様々な現場において施工、調査、維持管理等の実作業を学ぶ実習、過去に災害を経験した地元住民の方からの災害体験講話や地場産業の作業体験

等、多彩な実習が行われました。

また、「キャンプ砂防2017」の終了時に、参加



写真-1 姫川流域の砂防堰堤工事見学(松本砂防事務所)



写真-2 ふとん籠工施工体験（渡良瀬川河川事務所）



写真-5 工事現場技術者との意見交換（新庄河川事務所）



写真-3 地質調査作業見学（太田川河川事務所）



写真-6 自治体との意見交換会～十津川村災害からの復興（紀伊山系砂防事務所）



写真-4 ドローン ICT 体験（紀伊山系砂防事務所）



写真-7 特産品のワサビ収穫体験（伊豆市湯ヶ島）
（沼津河川国道事務所・静岡河川事務所）

した学生へアンケート調査を実施しました（図-3～図-7）。

応募前に「キャンプ砂防」を知っていたのは参加学生の5割程度、砂防事業の理解度は5割程度と、学生に対してなお一層、砂防事業及びキャン

プ砂防について知ってもらい取り組みが必要だと感じさせられる結果となりました（図-3，図-4）。

一方で参加動機としては、実際に砂防現場を見たい、中山間地の生活を体験してみたいことから



写真-8 昭和58年奈川災害の体験談（松本砂防事務所）



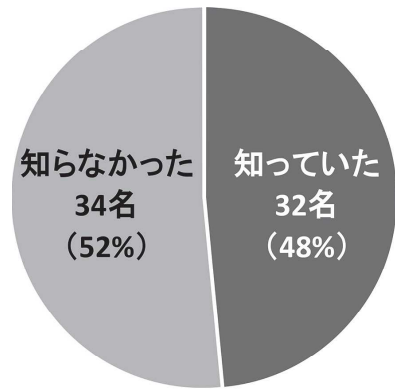
写真-9 ジオツアー（火砕流堆積物露頭）（雲仙復興事務所）



写真-10 成果報告会（四国山地砂防事務所）

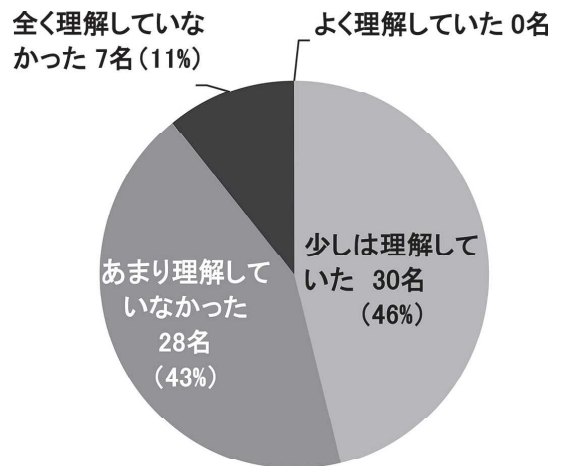
手を挙げた学生が7割程度を占めており、「キャンプ砂防」の開催意図と学生の参加意欲・興味がうまく合致していると思われます（図-5）。

「キャンプ砂防」のカリキュラムについては、「満足」と回答した学生が8割程度と非常に満足度が高い結果となりました（図-7）。これは、昨年度のアンケートを基に、砂防現場での見学だけでなく、施工や調査に関する体験を増やすなど



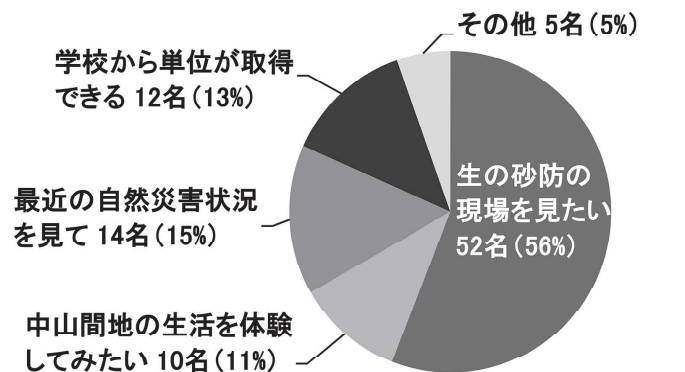
有効回答数N=66

図-3 キャンプ砂防を知っていたか



有効回答数N=65

図-4 参加するまでの砂防事業に対する理解度



有効回答数 N=66(複数回答可)

図-5 なぜ参加しようと思ったか

カリキュラムの改善を図った結果と思われます。その他、レポートのとりまとめ時間を増やして欲しい等の意見も見られました。

来年度の「キャンプ砂防」では、これらの意見を踏まえて、より有意義な内容にするとともに、より多くの学生が参加しやすい開催時期にしよう改善していきたいと思ひます。

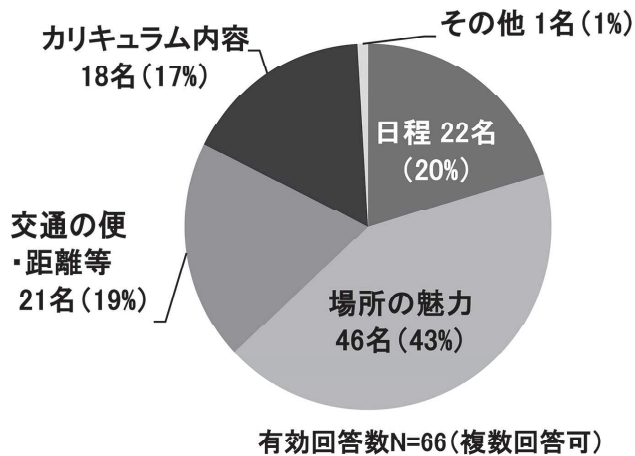


図-6 希望事務所を選ぶ際に重視した点

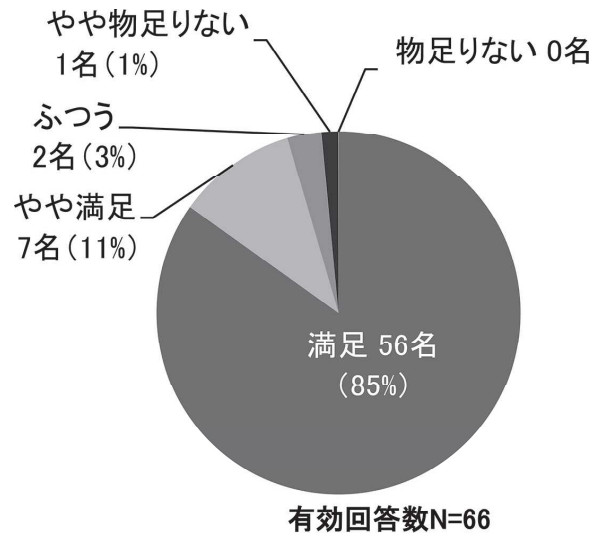


図-7 カリキュラムの内容について

4. おわりに

今年の「平成29年7月九州北部豪雨」や台風による土砂災害により、これまで以上に砂防事業への社会的関心が高まるなかで「キャンプ砂防」は、各開催事務所における各地域の特徴を活かしながら充実した内容で企画されており、中山間地域での生活体験や砂防事業に関する就業体験など、大学の授業だけでは学ぶことが出来ない様々な体験ができる貴重な機会でもありますので、来年度も

砂防事業に関心を抱く多くの学生に「キャンプ砂防」の参加を期待しています。

最後になりましたが、今回で22回目を数えることとなった「キャンプ砂防2017」が無事に開催できたことに、これまでにご協力いただいた各大学の先生方及び関係機関の多くの皆様に深く御礼申し上げますとともに、これからも引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

キャンプ砂防2017に参加された学生の皆さんへのアンケート

記入日 月 日
 校名・学科
 氏名

キャンプ砂防修了時に参加した事務所の担当官に提出をお願いします。

アンケート結果は、キャンプ砂防の今後のより良い企画立案などの参考とさせていただきます。

1. 参加にあたって

Q1-1. あなたは、以前からキャンプ砂防を知っていましたか。(いずれかに○)

- ①知っていた ②知らなかった

Q1-2. Q1-1で①に○をつけた方は何で知りましたか。(いずれかに○)

- ①先生からの紹介 ②過去に参加した先輩・友人等からの紹介 ③自分でHPを見つけて ④その他 []

Q1-3. 今回のキャンプ砂防へなぜ参加しようと思いましたか。(1つ以上に○)

- ①生の砂防の現場を見たい ②中山間地の生活を体験してみたい ③最近の自然災害状況をみて ④学校から単位が取得できる
 ⑤その他 []

Q1-4. あなたは、今回のキャンプ砂防に参加するまでに国土交通省や都道府県が実施している「砂防事業」をどの程度理解していましたか(いずれかに○)

- ①よく理解していた ②少しは理解していた ③あまり理解していなかった ④全く理解していなかった

Q1-5. あなたは、キャンプ砂防に参加するまでに国土交通省や都道府県の砂防事業の現場を見たことがありますか。(いずれかに○)

- ①ある ②ない ③その他 []

Q1-6. 申込みをするまでにキャンプ砂防に関する情報収集をしましたか。([]内は2つまで○)

- ①はい [キャンプ砂防HP ・ 事務所HP ・ 先生 ・ 先輩、友人等 ・ その他 ()] ②いいえ

Q1-7. 希望事務所を選ぶ際、重視した点は何ですか。(2つまで○)

- ①日程 ②場所の魅力 ③交通の便・距離等 ④カリキュラム内容 ⑤その他 []

Q1-8. 参加しやすい時期はいつですか。(3つまで○)

- ①7月下旬 ②8月上旬 ③8月中旬 ④8月下旬 ⑤9月上旬 ⑥9月中旬 ⑦9月下旬 ⑧その他 []

2. 参加してみて

Q2-1. あなたが参加したキャンプ砂防の開催事務所はどこですか。

事務所

Q2-2. 実施期間はいかがでしたか。(いずれかに○)

- ①短い ②やや短い ③ちょうどよい ④やや長い ⑤長い

Q2-3. カリキュラム内容は如何でしたか。(いずれかに○)

- ①満足 ②やや満足 ③ふつう ④やや物足りない ⑤物足りない

Q2-4. カリキュラム内容について良かった点、悪かった点を記入してください。

- ・良かった点 []
 ・悪かった点 []

Q2-5. 今回のキャンプ砂防の改善点、感じたこと、これから取り入れたらよいと思われるアイデアなどを記入してください。
 []

Q2-6. あなたはキャンプ砂防を友人や後輩に勧めたいと思いますか。(いずれかに○)

- ①勧めたい ②やや勧めたい ③どちらでもない ④あまり勧めたくない ⑤勧めたくない

3. 今後について

Q3-1. あなたが今後目指している進路について差し支えなければ教えてください。(2つまで○)

- ①ゼネコン ②建設コンサルタント ③国家公務員 ④地方公務員 ⑤造園業 ⑥林業系企業 ⑦その他 []

Q3-2. キャンプ砂防で直接知り合った参加者・別のキャンプ砂防の参加者・過去の参加者などとのあいだで、今後、交流の場を持ってみたいと思いますか。(いずれかに○)

- ①思う ②思わない

Q3-3. Q3-2で①に○をつけた方は、そうした場でどのような情報交換などができればよいと思いますか。記入ください。
 []

4. その他

Q4-1. 申込をしてから参加するキャンプ砂防の決定までは如何でしたか。(いずれかに○)

- ①早かった ②ちょうどよかった ③遅かった

Q4-2. HPの見やすさや使い勝手、情報の掲載度合いなどは如何でしたか。(いずれかに○)

- ①良かった ②ふつう ③良くなかった[理由を具体的に:]

ご協力ありがとうございました。

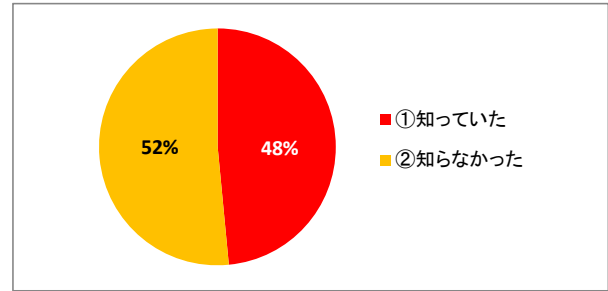
※本アンケートで知り得た情報は、集計・整理のうえ活用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください(個人情報は公表しません)。

■キャンプ砂防2016 学生アンケート回答結果集計

Q1-1

キャンプ砂防を知っていたか

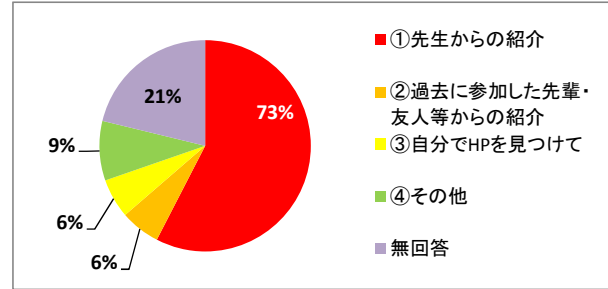
回答	回答数	備考
①知っていた	32	
②知らなかった	34	



Q1-2

キャンプ砂防を何で知ったか

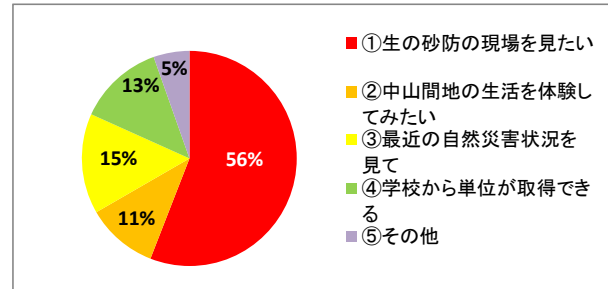
回答	回答数	備考
①先生からの紹介	38	
②過去に参加した先輩・友人等からの紹介	4	
③自分でHPを見つけて	4	
④その他	6	
無回答	14	



Q1-3

なぜ参加しようと思ったか(3つまで)

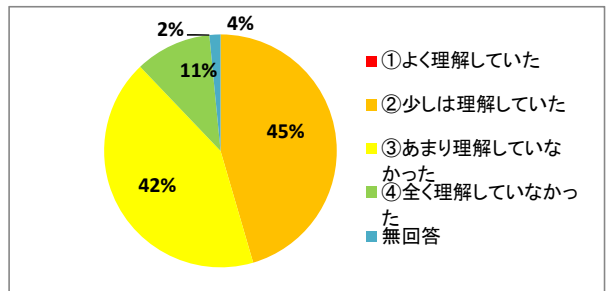
回答	回答数	備考
①生の砂防の現場を見たい	52	
②中山間地の生活を体験してみたい	10	
③最近の自然災害状況を見て	14	
④学校から単位が取得できる	12	
⑤その他	5	



Q1-4

参加するまでの砂防事業に対する理解度

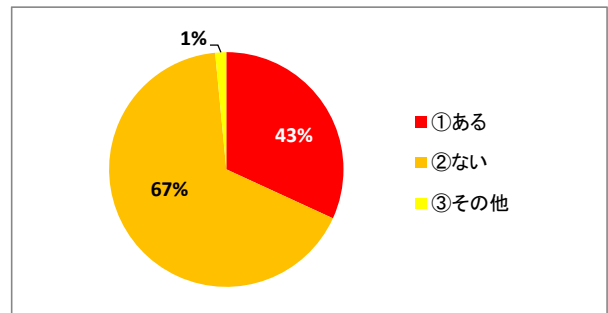
回答	回答数	備考
①よく理解していた	0	
②少しは理解していた	30	
③あまり理解していなかった	28	
④全く理解していなかった	7	
無回答	1	



Q1-5

砂防事業の現場を見たことはあるか?

回答	回答数	備考
①ある	21	
②ない	44	
③その他	1	写真で見た

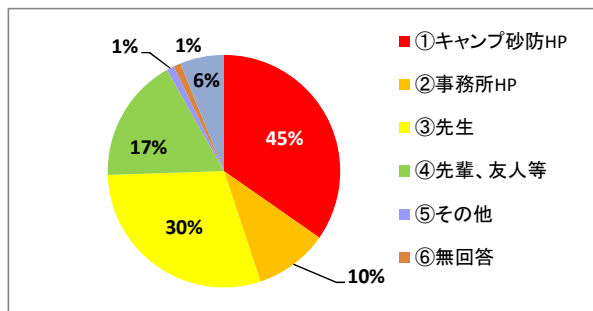


■キャンパス砂防2016 学生アンケート回答結果集計

Q1-6

申込み前の情報収集(2つまで)

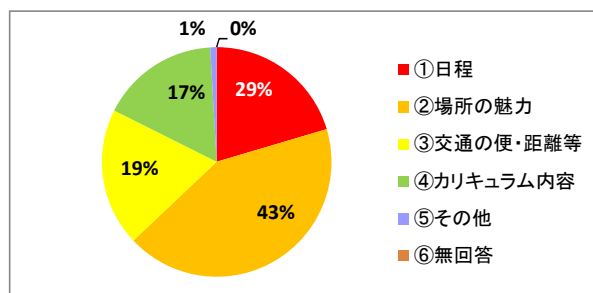
回答	回答数	備考
①キャンパス砂防HP	34	
②事務所HP	10	
③先生	29	
④先輩、友人等	17	
⑤その他	1	研究所の本
⑥無回答	1	
⑦情報収集をしていない	6	



Q1-7

希望事務所を選ぶ際重視した点(2つまで)

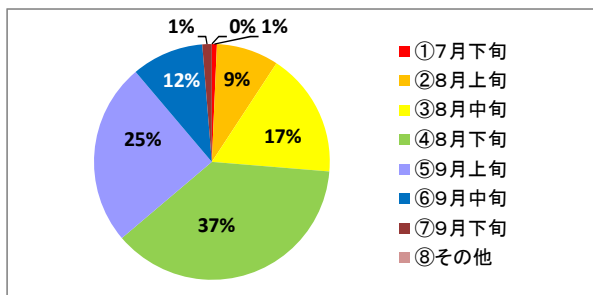
回答	回答数	備考
①日程	22	
②場所の魅力	46	
③交通の便・距離等	21	
④カリキュラム内容	18	
⑤その他	1	火山砂防
⑥無回答	0	



Q1-8

参加しやすい時期(3つまで)

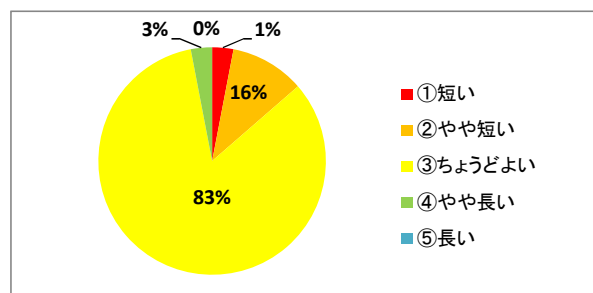
回答	回答数	備考
①7月下旬	1	
②8月上旬	13	
③8月中旬	26	
④8月下旬	57	
⑤9月上旬	38	
⑥9月中旬	15	
⑦9月下旬	2	
⑧その他	0	



Q2-2

実施期間について

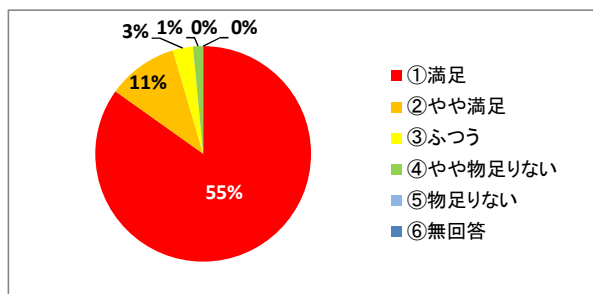
回答	回答数	備考
①短い	2	
②やや短い	7	
③ちょうどよい	55	
④やや長い	2	
⑤長い	0	



Q2-3

カリキュラム内容について

回答	回答数	備考
①満足	56	
②やや満足	7	
③ふつう	2	
④やや物足りない	1	
⑤物足りない	0	
⑥無回答	0	

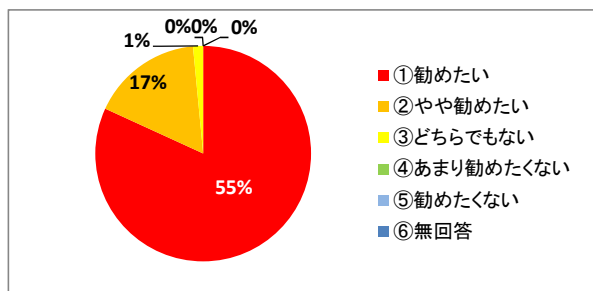


■キャンプ砂防2016 学生アンケート回答結果集計

Q2-6

友人や後輩にキャンプ砂防を勧めたいか？

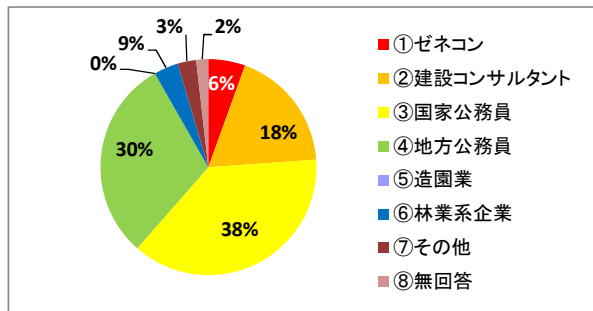
回答	回答数	備考
①勧めたい	54	
②やや勧めたい	11	
③どちらでもない	1	
④あまり勧めたくない	0	
⑤勧めたくない	0	
⑥無回答	0	



Q3-1

今後の進路(2つまで)

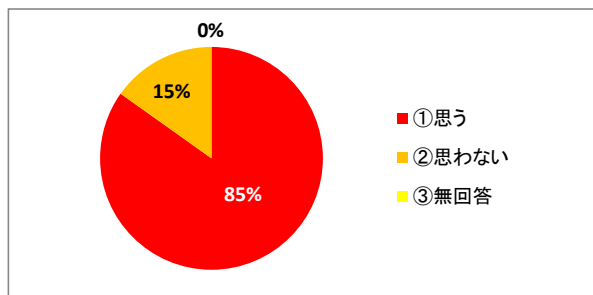
回答	回答数	備考
①ゼネコン	6	
②建設コンサルタント	20	
③国家公務員	41	
④地方公務員	33	
⑤造園業	0	
⑥林業系企業	4	
⑦その他	3	
⑧無回答	2	



Q3-2

参加者と今後の交流について

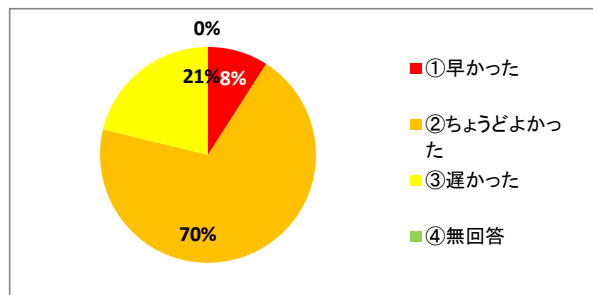
回答	回答数	備考
①思う	56	
②思わない	10	
③無回答	0	



Q4-1

申込から決定までの期間

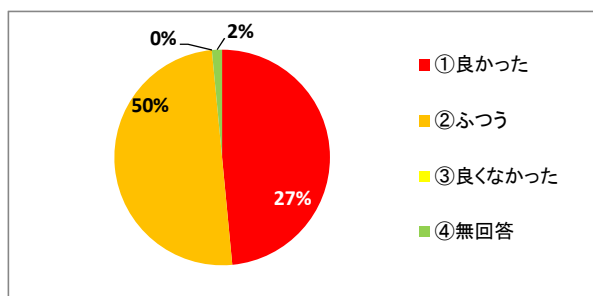
回答	回答数	備考
①早かった	6	
②ちょうどよかった	46	
③遅かった	14	
④無回答	0	



Q4-2

HP見やすさ、使い勝手、情報掲載度合い

回答	人数	備考
①良かった	32	
②ふつう	33	
③良くなかった	0	
④無回答	1	



キャンプ砂防2017 学生アンケート回答(記述)

No	質問 回答 (参加事務所名)	Q1-3		Q2-4		Q2-5		Q3-3		Q4-2	
		参加の理由 (⑤その他)の詳細	カリキュラムの良かった点	カリキュラムの悪かった点	改善点、アイデアほか感じたこと	どのような情報交換	HPIについての感想 「③良くなかった」回答の理由				
1	天上		砂防事業について知ることができた	カリキュラムの悪かった点	天候で実施できないカリキュラムがあった	宿泊費や交通費がほしかった	回答なし				
2	天上		砂防だけでなくダムやトンネルについても学べた。	カリキュラムの悪かった点	天候が悪く千畳敷に行けなかった。	特になし	就職後の情報交換(各会社の情報)				
3	渡良瀬		砂防事業について、現場を学ぶことでより深く理解できた	特になし	特になし	内容に富んだ日とそうでない日の差が大きかった	これから自分がしたいこと、しようと考えていること、活動等				
4	渡良瀬		実際の砂防施設を見学できた。	特になし	特になし	民間団体とも連携して話を聞くことができたことがよかった。	初めて農学系の授業を受けている学生と話して、刺激を受けたので、林業関係の話も聞けたらと思う(土木を先行している身)				
5	渡良瀬		砂防事業について、現場での会見を通して深く理解できた	特になし	特になし	実習中心のカリキュラムで、やったことのないような経験を数多くできた。	他の大学ではどのような授業や演習が行われているのか				
6	渡良瀬		たくさんの現場へ行け、貴重な体験ができたこと。	特になし	特になし	前もって予定がわかっっていて、宿泊場所の予約や費用の概算など細かなことまでできていてよかった。	大学で学んでいることや今後の進路について				
7	渡良瀬		砂防事業について、現場で学ぶことでより深く理解できた	特になし	特になし	官民共同の取り組みの大切さ、災害から身を守る砂防設備の大切さを実感した	回答なし				
8	湯沢		多くの砂防現場を見れたこと	特になし	特になし	特になし	研修内容				
9	湯沢		回答なし	回答なし	回答なし	回答なし	回答なし				
10	湯沢		回答なし	研修発表作成の時間が少ない	回答なし	飯代が高いのでコスパがよいものを	同じ砂防を仕事とする身として技術などの情報共有ができれば				
11	湯沢	砂防は興味があり、夏の新潟を知らなかったため、知りたかった。	色々な現場を見学させていただき、また堰堤見られて貴重な体験ができたこと。	特になし	特になし	湯沢事務所の方たちがとても丁寧に教えてくださり、わかりやすかったです。	もし仕事は就いたときに知り合った参加者にほかの地方の状況など色々情報交換がしたいです。				
12	湯沢		工事現場に入って監督に直接話をうかがうことができた点	1日目と2日目の宿泊費がやや高すぎると感じられた点	深雪事業に関する学習の機会があればさらに良くなると思われます。		どこに何があるのか分からない時があったから。				
13	湯沢		多くの現場を見て回れた	時間に余裕があまりなかった	体験型がもう少し増えればやりがいを感じる		今後の進路状況や様々な職種を知る				
14	静岡河川・沼津河川		普段体験できないことが体験できた	特になし	特になし	暑さ対策が充実してくれると嬉しい					
15	静岡河川・沼津河川		様々な場所をまわられた。	特になし	特になし	発表は大事だがその分を現場見学にまわしてほしかった。					
16	静岡河川・沼津河川		自分の見たいところを臨機応変に見せてくれた	特になし	特になし	事前に何を見たいかを生徒に聞いておく。	学生の時何をしてきたか、どういう着眼点で物事を見ていけば良いか				
17	紀伊山系		大規模な土砂災害の現場に触れられたこと	暑い中、現場を歩くことが多く非常に疲れた	地すべりの現場や作業中の現場などを見に行けたらいい		過去のキャンプ砂防で感じたことを聞いてみたい				
18	紀伊山系		多くの現場を見て回れたこと	スケジュールがタイトであったこと	最終発表のための時間が非常に短く、パワーポイントに不慣れな学部生には辛いと思われる		各々の研究内容の進展				
19	紀伊山系		おおむね満足しました	ずっと歩き続けなければいけないとき逐一事前に言ってほしかった。心の準備がしたい	講師職員も名札を付けてほしい		国交省職員のなかでキャンプ砂防に参加したことのある方々のあいだで、実践報告の場を作ってもらい、改善を続けてもらえばよいのではないかと				
20	紀伊山系		現場をたくさん見学できたこと	回答なし	回答なし	回答なし	砂防事業				
21	紀伊山系		様々な崩壊現場を見学できたこと	特になし	特になし	必要な経費などは、おおまかでも事前に情報がほしかったです。	各地域での防災の仕事について				
22	紀伊山系		回答なし	七月のキャンプ砂防は授業・試験等で選べなかった	回答なし	回答なし					
23	宮崎・大隅		いろいろな内容が含まれていて情報が豊富だった	交通の便が少し不便だった	回答なし	回答なし					
24	宮崎・大隅		砂防関係者の話を聞いたこと	集合・解散場所	回答なし	回答なし					
25	宮崎・大隅		様々な場所に行けたこと、温泉に入れたこと	特になし	特になし	火山が活発なので、毎日温泉に入れたらうれしいです！	土木と農学の共通点や違う点を話し合えたらよいです。				
26	宮崎・大隅		2つの県の砂防事業を見ることができた点	特になし	特になし	貴重な体験ができた点	他の場所の砂防事業について聞いて見たい				

キャンプ砂防2017 学生アンケート回答(記述)

No	質問 回答 (参加事務所名)	Q1-3	Q2-4	Q2-5	Q3-3	Q4-2
		参加の理由 (⑤その他)の詳細	カリキュラムの良かった点	カリキュラムの悪かった点	改善点、アイデアほか感じたこと	どのような情報交換
27	川辺川・雲仙	火山砂防を学びたい	砂防に留まらずもっと大きな範囲で学ぶことができた	回答なし	回答なし	
28	川辺川・雲仙		現場を見るだけでなく住民の方の声をきくことができた(ホームステイ)	レポート、日誌を書く時間が短い	レポート、日誌を書く時間がほしい	どのような職でどのように活かしているのか
29	川辺川・雲仙		ホームステイ、懇親会、ジオツアー、登山、われん川、全て	回答なし	回答なし	
30	札幌		生の現場や現場の雰囲気などを体験できた	特になし	レポートを書いたりする時間がちょっと長かったら良いと思った	地元の人は情報交換できれば輪が広がると思う。
31	札幌		短い時間でたくさんの方のことを学ぶことができた。現場をたくさん見学することができた。	移動の車が狭かった。	乗る席を決めずに、広いところと狭いところを交互にしてほしい。また、火山も見れたかった。	学んだこと
32	札幌	北海道の河川・砂防事業に興味があったから	砂防事業だけではなく、河川や道路、林野庁の事業も見学できたこと。	内容が濃すぎたこと。	もう少し砂防に携わる民間の方や研究者の話も取り入れて幅広い知見を。	現在ほどのような職種で働いているのか。
33	新庄		砂防について様々な視点から知れたこと	特になし	民泊はとてためになったので今後も続けてほしい	他の実施地について意見交換できる場
34	新庄		歴史も知ることができること	特になし	回答なし	回答なし
35	新庄		文化体験もできたこと	少しだけ連絡が遅かった	回答なし	進路の相談
36	新庄		実際の砂防の現場を見ることができた点	特になし	特になし	就職などの情報交換ができればよいと思います
37	日光		建設途中の現場に行くことができたこと	雨が降ったため、車の中からしか見れない所があった	もう少し施行の体験ができればさらに楽しめると感じた	まだ行ったことのない地域の砂防事業を学べればよいと思う
38	日光		実際に土砂災害の被害にあった現場を見て、その場で解説して下さった点	レポートの作成時間が短かった点	コンクリートなどは学校でやらないので事前に資料(簡単なもの)を用意していただけると嬉しいです	今後、キャンプ砂防に参加する後輩のために、進路状況を交換しあい、共有できれば良いと思います。
39	日光		滝など観光地も見ることができたこと	特になし	コンサルタントの方々とお話しする機会があったらもっとよかった	就職について
40	日光		最近完成した砂防も見学することができて良かった	パソコンでレポートをまとめる時間がもう少しほしかった	砂防一つ一つの図があると更にわかりやすかったと思いました	別の地域の砂防はどのような工夫がされていたのかな
41	富士川		近くで砂防堰堤を見学できたり、実際の工事現場体験をできた点	移動時間が長く感じた	レポート作成の時間をもう少しほしかった(朝早くにできればやりたかったです)	砂防現場の現状。災害が起きた際の
42	富士川		重機を動かせる、現場体験がある	土地柄仕方ないが移動が長く、もう少し早く帰れたらレポートを進められた。	書くものが多く、ごちゃごちゃしてしまうのでレポートと日誌は一枚の書類にして欲しかった。書く内容も大きく被ってしまった。日誌のボリュームを増やしてレポートをなくすなど	SNS等でキャンプ生と交流
43	富士川		現場や事務所で丁寧に説明してもらい、生の声も聞けたこと	砂防施設ということでどうしても移動が多かったこと	移動中用の講義もあってよいのではと感じた。	各地方での砂防や防災状況
44	松本		砂防に関わっている人とたくさんお話できたこと	宿泊所でいろいろな人と交流を持てたが、机だけ欲しかったです	夏場なので汗をかきやすいので作業着が2着あるとよいと思います	他県に住んでいる方々とのその県の特徴を聞いてみたいです
45	松本		現場見学	泊まる場所	最初の座学で重複しているところがあったので削れると思います	今の現場について
46	松本		関係者しか入れないような現場を見れたこと、地域の人とたくさん話せたことが特によかったです	時間と見学すべき場所の関係で車移動が多かったが、強いていえば、もう少し歩きたかったと思いますが、最高のプログラムでした	もっとカリキュラム内容のキーワードを事務所のアピールとしても全面に押し出していると松本砂防事務所をキャンプ砂防の場として希望しやすかった	専攻や分野は違うものの、違うからこそ就職先等で迷ったときに意見を求められるような関係ができていれればよいと思います。
47	神通川水系		現場見学等が多く、実際の業務などがよく理解できた	特になし	特になし	現状報告など
48	神通川水系		すべて良かった	特になし	回答なし	LINE
49	神通川水系		本当にいろいろと考えて下さった点	特になし	最高の夏休みをありがとうございました	回答なし
50	神通川水系	教授のすすめで	普段見ることのできない施設をたくさん見ることができた。ほかにも様々な体験や地域の方々とのふれあいができた	回答なし	回答なし	直接知り合った参加者のところに遊びに行きたい、ほかのキャンプではどのようなことをしたのか聞いてみたい
51	六甲		外に出て見学する機会が多かった	堰堤の見学ばかりだったので、もうすこしバリエーションが欲しかった	宿泊の面倒を見てもらいたかった	参加したような人がどのような職に就いたのかが気になる
52	六甲		多くの現場を間近で見ることが出来た。樹木の勉強会など自分の専攻以外の内容にも触れられた	特になし	回答なし	

キャンプ砂防2017 学生アンケート回答(記述)

No	質問 回答 (参加事務所名)	Q1-3		Q2-4		Q2-5		Q3-3		Q4-2	
		参加の理由 (⑤その他)の詳細	カリキュラムの良かった点	カリキュラムの悪かった点	改善点、アイデアほか感じたこと	どのような情報交換	HPIについての感想 「③良くなかった」回答の理由				
53	六甲		土木では学べない樹木の勉強ができたことは良かった	砂防堰堤の設計に必要な外力について知りたかった	大局的な意味で砂防堰堤の設計の流れについて知りたいと感じた	別のキャンプ砂防での行ったことを話し合いたい					
54	六甲		様々な現場に連れていってもらい、働いている生の声を聞いたこと	移動が長かった	来る段階で資料がわかりづらかった。宿をどうしたらよいかなどがわからなかった	今後の進路やどういったことをやっているかなどの情報を交換したい					
55	六甲		現場を見れたこと	見学が主だった	実習を入れたらいいと思う	将来の進路や仕事について					
56	六甲		堰堤が見れた(たくさん)、建てている途中の中も見れた、ナラ枯れの勉強ができた	カシナガホイホイの全体像を見たかった。自然学習をもう少ししたかった	個人的には生物の環境調査みたいなのがあれば良かったと思うが別にこのままでもよいと思う	回答なし					
57	太田川		現地実習、色々な方の話を聞いた点	回答なし	回答なし	進路、やりがい、問題					
58	太田川		現場を多く見学させていただいたこと	回答なし	回答なし	お仕事の相談					
59	太田川		車で多くの場所にいったこと	時間がやや押し気味	地域の方の意見も聞いてみたいです	地域性の違いについて					
60	太田川		広島の名所での砂防事業をしっかりと見ることができた	特になし	回答なし	国家公務員試験の情報					
61	太田川		午前の座学と午後の現地調査がリンクしていて良かった	駆け足感が少しあった	実際に測量などを体験できれば良かったかなと思う	近くの参加者と食事でもしながら					
62	四国山地		実際の現場にたくさん足を運べた	もう少し期間が欲しかった	崩壊地の調査を実際に自分たちで行うようなことがしたい	仕事への相談など					
63	四国山地	遠くに行っている人々と勉強できる	現場に行く前に現場の説明を受けてイメージがつかめた点	村長さんとの時間がもう少し欲しかった	回答なし	現在の職業の内容、くらしなど					
64	四国山地		孔内傾斜計・ドローンなど実際に自分で体験できる機会があったこと	実務的な内容(例えば堰堤の設計)があまりなかったこと	それぞれのキャンプ地で定員に空きがある事務所に希望者が2回目の参加ができる制度	公務員志望の人が多と思うのでその情報交換ができればと思います					
65	四国山地		目で見れたこと	天気	大変、しんどい、けどやりがいはありそう						
66	四国山地		実際の現場を生で見る事ができた点	天候が悪いと十分な内容にできなかった点	雨の時の代替行程の充実	別の砂防の土地の特色とそれに合わせた事業はどのようなものか					